

上越ケーブルビジョン
平成 29 年度 第 1 回番組審議会
議事録

日時：平成 29 年 10 月 20 日（金）14:00～15:00

場所：JCV2F 会議室

出席者 （審議委員：五十音順）

○池田弘 委員 ○上野 迪音 委員 ○小林 美佐子 委員
○斉京 貴子 委員 ○佐藤 隆義 委員 ○直原 幹 委員

（上越ケーブルビジョン）

○放送担当取締役 植木 悦
○放送部 部長 福嶋良章
○放送部 放送課 課長 佐藤康司
○放送部 放送課 課長 沢田真紀

1. 開会
2. 挨拶 放送担当取締役 植木
3. 委員紹介 番組審議員名簿にて紹介
4. 委員長、副委員長選任 立候補者不在で委員より事務局一任との事から
委員長に直原氏、副委員長に池田氏を指名いたし承認される
5. 委員長、副委員長挨拶
6. 議事

(1) ニュース LiNK での取組について

「上越市長選挙特集」

(佐藤) 8 年ぶりの選挙にむけて準備を整えていたが、衆議院選挙と重なり日程が早まったため、予定していたディスカッションは取りやめ、抽出した市政課題についての VTR を制作した。それに先立ち上越妙高タウン情報で市長選に関するアンケートを行い、有権者 5 3 1 人からお答えいただいた。観光振興、子育て、人口減少、少子高齢化との答えが多かった。中から、高齢者福祉・町おこしなどの市政課題について、アンケートを軸に特集を組んだ。併せて、VTR をタウン情報にもアップした。

「SAKE まつり 蔵元紹介」

(佐藤) SAKE まつりも中継に先駆け、蔵元紹介を番組の中で行い、イベントの盛り上げや集客につなげる。番組は、県外など 5 つの CATV 局にも同時配信を行い、

今年は新たにインターネットからの LIVE 配信も行う。

(全委員) 意見や質問は特になし

「4K映像での特別番組制作」

(佐藤) 4K で撮影し素材を残すということも考え早いうちから取り組んでいる。四季折々の風景や祭りなどを撮りためている。その中からドキュメンタリーという形で取り組んだのが「里山のふところ」。時間をかけて制作するのが難しい現状の中で、あえて取り組んだ事例。くわどりの文化を一年をかけて追った約一時間の番組。

(池田副委員長) 4K は現状の機器のまま、出口と入り口を整えれば見る事が出来る？

(福島) チューナーが無い。 昨今ケーブル4K という専用端末をつければ見る事が出来るものもある。4K は容量が大きく編集にも時間がかかる。データ量も多いため、すぐにできるものではなく今から撮りためている。

(斎京委員) JCV に全戸が加入しているくわどりでも、見ていない人が多いと思う。もったいない。この番組を DVD としての販売は？

(福島) DVD 販売の仕組みはない。

(上野委員) 地域を特化した放送の仕組みがあれば。

(斎京委員) DVD を近所に貸しながら全世帯に見てもらい、これをきっかけに JCV の存在をアピールすることも出来る。

(福島) ご指摘の通り告知が永遠の課題。上越妙高タウン情報はそのためのひとつのツールでもある。またご意見をいただければ。

(2) 新たな情報配信の取組み事例

「こしひかりマラソン」

(佐藤) 初のTV・FM・NET同時生中継。

媒体連携の取組みの一つ。FM みょうこうのパーソナリティもハーフマラソンに参加し臨場感を伝えた。ランナーは地元の人が多いので、たくさんの方にインタビューに参加してもらえた。表現方法など、映像とラジオでの同時放送での課題も見えてきた。

上越妙高タウン情報ではゴールシーンのみの映像をアップしている。

再放送で自分の姿を見るなど、視聴の機会や話題になれば。

「アーカイブ化の取組」

(佐藤) 時間とともに劣化が進み今データ化しないと素材がなくなってしまう。

光ディスクにデータを移す作業を行っている。テープ管理・データ移行を二人のスタッフが進めている。まだ、過ぎに引き出せるメタデータの作業も行っている。番組制作の中で昔の懐かしい映像を使用することも容易にできるようになる。

アーカイブの映像を使ったドキュメンタリー番組の制作も予定している。

日々のニュースやお祭りなど、懐かしい様子を視聴者にご提供するのも我々の役目と考える。

(池田副委員長) コシヒカリマラソンでは裏方のボランティアの動きも大切な役目。ぜひ紹介してもらいたい。

(佐藤) マラソン大会はボランティアの活躍無くしては成り立たないイベント。もちろん紹介させていただく。

(4) その他

(池田副委員長) FM みょうこうでは、妙高市のイベントを一緒に作り上げるという姿勢が好印象。地元密着型を感じている、このまま続けてほしい。

(佐藤委員) アナウンサーがよく使う「〇〇させていただきました」、という言葉は丁寧すぎておかしく感じるが？言葉の使いかたにも気をつけてもらいたい。

(小林委員) 視聴者の多い町場は情報も多いが、是非山手の穴場的な情報を拾ってもらえたら。

(上野委員) 地域を追う番組も制作してもらえたら、その地域の人を取り上げられて誇りをもってもらえそう。先月 NHK 新潟でのイベントでアイデアマラソンに参加した。市民が出したアイデアを NHK の設備を使って番組を作るという企画。市民のアイデアを生かした番組などもあるとよいのでは？

(斎京委員) 毎週水曜のコーナー（簡単節約レシピ）に出演しているが、見ている人からの声もあり、自分も楽しく制作に参加している。また、寺町に雪室があったという話を昔 JCV に紹介したことがあるという人に会った。そのように、昔の映像を見たいという人たちも多いと思う。視聴者の意見を反映できるように、懐かしい映像のリクエストも募集してみてもは？

(直原委員長) 年に二回ほど剣道のスポーツ少年団を取り上げてもらっている。取材の際、放送日を配布してもらっているがその心配りがありがたい。

7 閉会

議事録作成人 上越ケーブルビジョン 沢田真紀 ⑩

議事録署名人 直原 幹 ⑩